

第47回全国選抜高校テニス大会への本校の出場は、11年連続21回目となりました。過去には、ベスト16に入りベスト8まで手が届くところにきていましたが、近年はドローに恵まれずトップシード校との対戦となり厳しい戦いを強いられていました。

12月に関東で冬季合宿、1月に関東遠征・全国私学大会・群馬遠征、2月に関東遠征と繰り返し練習試合を行い、3月の大会前には7校と2複3単の大会同様の練習マッチを実施し、強化を図ることができました。

大会のスタッフの皆様のご尽力により、安全・安心な状態で大会が実施されました。全国高体連常任委員の先生方・吉武さんをはじめとする日本旅行の皆様、大変お世話になりありがとうございました。

1回戦の浦和学院高校戦では、ダブルスNo.1がマッチポイントを握りながら逆転負けをしたことが悔やまれます。2-5ダウンからのマッチポイントだっただけに残念でなりません。ダブルスNo.2は粘り強く戦い5-2リードから6-4で勝利しました。シングルの3試合は、前半は互角で展開しましたが、中盤よりゲームポイントをものにすることができず、徐々に競り負け敗退しました。

多くの保護者の皆様から、遠く福岡の地まで応援に来ていただき、心より感謝申し上げます。敗れはしたものの、選手は持てる力を精一杯出してプレーをしてくれました。今後のさらなる成長に期待し、一致団結してより一層の精神力と技術力の向上をはかりたいと思います。